

Y08a 「LLP 京都虹光房」: 神山天文台におけるキャリア教育の1年

吉川智裕、河北秀世、池田優二、藤代尚文、中道晶香 (LLP 京都虹光房 / 京都産業大学)

京都産業大学神山天文台では、1.3m 荒木望遠鏡を利用した観測天文学と装置開発を重視した学部・大学院教育や、一般公開をはじめとする種々の天文学普及事業など、特色のある教育活動を行っている。そのもう一つの柱が、研究活動を通して獲得したスキルを用いて積極的に実社会で活躍できる人材の育成である。この背景には、大学院重点化により博士が急増する一方で、キャリア教育が十分に手当てされているとは言い難い現状がある。

私達、神山天文台の研究スタッフは、実社会で活躍できる人材育成を進めるための一つの社会実験として、2010年10月に「LLP (有限責任事業組合) 京都虹光房」を設立した。LLP は、構成員それぞれが自身の事業に責任を持つ「事業主」の集合体であり、各構成員は経営者としての視点を持つことが要求される。私達の LLP には、構成員として会社経営の経験者がいる一方で全くの未経験者も含まれているため、参加している構成員自身が経営者として成長するために日々研鑽の途にある。このように私達自身の実践的教育の場であるとともに、将来はポスドクや学生を構成員に迎え、自らの将来を切り開ける人材育成の場となることを目指している。

LLP 京都虹光房は、各構成員のスキルと興味に基づき、(1) 光学設計および光学関連機器の開発、(2) 機器制御ソフトの開発、(3) 天文観測データおよび物理実験データなどの解析と手法の開発、(4) 科学教材および科学教育プログラムの開発、(5) 天文学に関連する著作および講演活動、などの事業を中心に活動してきた。設立から1年を迎え、私達は LLP の活動を通し大学などの教育機関や一般の企業を相手としたビジネスの経験を積む一方で、大学スタッフが営利活動を行う上で大学との協力関係の構築の仕方などのテーマに取り組んでいる。本講演では、LLP の設立から1年の活動を実例を交えて報告する。